

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2012年4月～2022年3月までに当院で上部消化管内視鏡検査を実施し、他臓器癌胃転移と診断された患者さんを対象としています。

### 【研究課題名】

転移性胃腫瘍における内視鏡像および臨床病理学的特徴に関して

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

他臓器癌胃転移の内視鏡的な特徴を明らかにすること

#### 《研究に至る背景》

胃転移は比較的稀です。また胃転移は内視鏡像からは原発胃癌や潰瘍性病変などとの鑑別が難しく、現在内視鏡的な特徴は明確ではありません。今後症例が増えるにつれ、特異的な内視鏡所見の理解が深まれば、原発腫瘍の同定につながる可能性や、転移性病変の早期発見・早期治療につながる可能性があるためです。

### 【研究期間】

2024年1月22日 ～ 2025年4月1日

### 【単独／共同研究の別】

当施設単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 消化器内科 部長 布袋屋 修のもと、研究終了後 5年間保管 いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

### 【利用する診療情報】

診療情報：

1. 診療録：年齢、性別、症状
2. 採血所見：特になし
3. 頸部・腹部超音波検査：リンパ節転移、遠隔転移の有無の評価
4. CT画像データ、MRI画像データ
5. 内視鏡画像
6. 治療内容：原病及び胃転移診断後の治療内容。

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：消化器内科 部長 布袋屋 修

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年4月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器内科 ・ 平野 多紀

電話 03-3588-1111(代表)